

1 題材名 いのちのたんじょう

2 題材設定の理由

この時期の児童は、ギャングエイジといわれるように共通意識のもとに同性集団でまとまって行動したり遊んだりすることが多い。そして、自己中心的であったり、思慮や思いやりに欠けた言動をとるために、時に人の体や心を傷つけてしまうこともある。

そこで、母親の胎内で育つ赤ちゃんの様子から、両親からもらった命の尊さや、他人の命も自分と同じように大切なことを気付かせたい。また、妊婦体験や赤ちゃん人形を抱くなどの体験的な学習によって、母親の大変さや支えてくれた家族へ感謝の気持ちをもって生活させたい。

3 児童の実態（平成〇〇年〇月〇日調べ 〇年生 男〇〇名 女〇〇名 合計〇〇名）

- | | | |
|---|--------|-------|
| (1) 赤ちゃんのもとがあるということを知っていますか？ | ・知っている | ・知らない |
| (2) お母さんのおなかの中に赤ちゃんがそだつへやがあることを知っていますか？ | ・知っている | ・知らない |
| (3) 「へそのお」とはなにか知っていますか？ | ・知っている | ・知らない |
| (4) 赤ちゃんがどこをとおってうまれてくるのか知っていますか？ | ・知っている | ・知らない |

アンケートの結果では、・・・(各校による)

4 指導のねらい

- 生命誕生に関する初歩的な仕組みと命のつながりを理解し、生命の尊さに気付くとともに、生命誕生を見守ってきた周囲の大人の人たちの思いを知り、自他の生命を大切にする気持ちや家族への感謝の気持ちをもって生活していくことができる。

5 学習計画及び評価規準

月 日	過程	活動の場	活 動 内 容	評 価 規 準
〇月〇日	事前	帰りの会 家庭	アンケート調査を実施する。 自分がうまれたときの様子や気持ちについて家族へインタビューをする。	自己の課題を見つけようとしている。 自分の誕生について家族からの話をきき、調べようとしている。 (関心・意欲・態度)
〇月〇日	本時	学級活動	生命誕生のしくみについて知り、自他の生命を大切にする生活の仕方について考える。 家族の思いを知り、家族へ感謝の気持ちをもって生活しようとする心情を育てる。	生命誕生のしくみについて知り、自他の生命を大切にする生活の仕方や家族の思いを理解している。 (知識・理解) 自他の生命を大切に、家族への感謝の気持ちをもって生活するよりよい方法について考え、判断している。 (思考・判断)
〇月〇日	随時	教室 家庭	自分や友だちを大切にする生活の実践にむけて励まし、支援する。 家族への手紙を家庭で読む。	毎日の生活の中で、自他の生命を大切に、家族への感謝の気持ちをもって生活するよりよい方法を取り入れ、実践することができる。 (技能・表現)

6 本時の指導

(1) 目標

生命誕生の初歩的な仕組みがわかり、自分にとっても他人にとっても尊いいのちを大切に、家族へ感謝の気持ちをもって生活していくことができるようにする。

(2) 準備・資料

- ① アンケート結果の表 ② 図赤ちゃんはどこに？どんな風に？（性教育の手引き） ③ 図赤ちゃんの成長（性教育の手引き） ④ キーワードのカード（赤ちゃんがそだつへや、へそのお、赤ちゃんの通りみち） ⑤ 妊婦体験教材 ⑥ 赤ちゃん人形 ⑦ 家族へのインタビュー用紙 ⑧ 便箋 ⑨ 封筒

(3) 展開

学習活動・内容	教師の支援及び評価（評）		資料
	T 1	T 2	
<p>1 本時の課題を確かめる。</p> <p>赤ちゃんはお母さんのおなかのなかでどのようにそだち、生まれてきたのだろうか。</p> <p>(1) お母さんのおなかのなかの赤ちゃん。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をもとに学習課題に関心もてるよう配慮する。 図赤ちゃんはどこに？どんな風に？を掲示し、赤ちゃんがどこに、どんな風にお母さんのおなかのなかにいるのか質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果を掲示する。 赤ちゃんは生まれるころになると、お母さんが赤ちゃんを生みやすいように頭を下にしていることを図を使い知らせる 	<p>アンケート結果の表</p> <p>図赤ちゃんはどこに？どんな風に？</p>
<p>2 赤ちゃんはお母さんのおなかのなかでどのようにそだつのかを知る。</p> <p>(1) 赤ちゃんの成長の様子。</p>	<p>(評) 初歩的な生命の仕組みについて理解できたか（観察・発表）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 図赤ちゃんの成長を使い赤ちゃんが成長していく様子を理解させる。 	<p>図赤ちゃんの成長の様子</p> <p>キーワードのカード</p> <p>妊婦体験教材</p> <p>赤ちゃん人形</p>
<p>3 お母さんの大変さを知る。</p> <p>(1) 妊婦体験や赤ちゃん人形を抱く。</p> <p>(2) 体験した児童の感想を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童に妊婦体験の教材を着たり、赤ちゃん人形を抱く体験をさせる。 体験した児童の感想を発表させ、お母さんの大変さについて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の体験がスムーズに進むように、T 1とともに支援する。 感想を発表できない児童に支援する。 	
<p>4 家族の思いを知る。</p> <p>(1) 家族へのインタビュー用紙を黙読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童のインタビュー用紙の中からいくつかのインタビューを紹介し、自分と同じように友だちも大切に思われていることを考えさせる。 		<p>家族へのインタビュー用紙</p>
<p>5 家族へ手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、お母さんや家族への感謝の気持ちをまとめさせ、発表させる。 	<p>(評) 自分や友だちを大切に家族への感謝の気持ちをもつことができたか（手紙・発表）</p>	<p>封筒</p> <p>便箋</p>

7 事後指導への配慮事項

学校と家庭で連携を図りながら、励まし支援していく。